

## 砺波平野の屋敷林の変化

富山大学人文学部  
大西宏治

### 1 砺波平野の散村景観

富山県の砺波平野の散村では、農家の家屋が屋敷林で囲まれている（図1）。屋敷林はスギが主体であり、他にケヤキやカシなどで構成されている。屋敷林の起源には諸説あるが、季節風やフェーンに対する防風林や防火林、また夏の日差しを防ぐためともいわれている。この地域では、家屋の南側から西側にかけて樹林が厚く配置される傾向にあった。

人々が大切に守り育ててきた屋敷林も第二次世界大戦時には、軍需用に供木され、次々に姿を消していった（砺波散村地域研究所，2001）。しかし、供木後、早く成長するスギ（通称ボカスギ）が植林され現在の景観となった（新藤，2005）。

現在では、富山県、砺波市、南砺市が田園空間整備事業を実施し、「散居景観を活かした地域づくり協定」が結ばれ、散村の景観保全活動に住民と富山県や砺波市が協働して取り組んでいる。

2004年10月に日本へ上陸した台風23号により、この屋敷林に大きな倒木被害が発生した。



筆者撮影

図1 屋敷林に囲まれた家屋

### 2 2004年23号台風の概要

2004年の台風23号は10月20日の13時過ぎに高知県土佐清水市付近に上陸し、15時

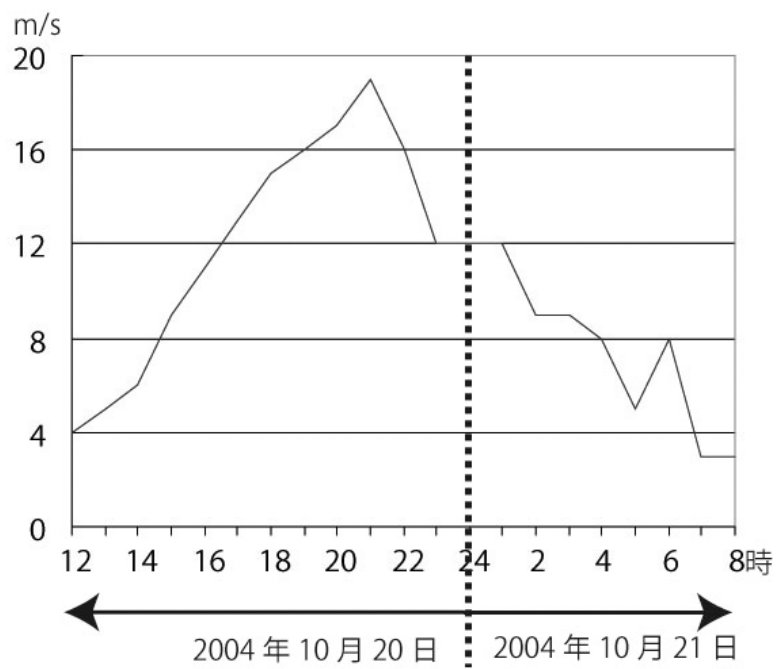
過ぎには室戸市付近に再上陸、そして 18 時過ぎに大阪南部を通り、21 日午前 3 時頃に温帯低気圧に変わった (図 2)。

この台風の接近に伴い、砺波市では夕方から風速が 12m/s を超え、午後 9 時には最大風速 19m/s を記録し、翌日の午前 1 時ぐらいまで強風が続いた (図 3)。最大瞬間風速はおよそ 40m/s であったと予想される (由比, 2005)。



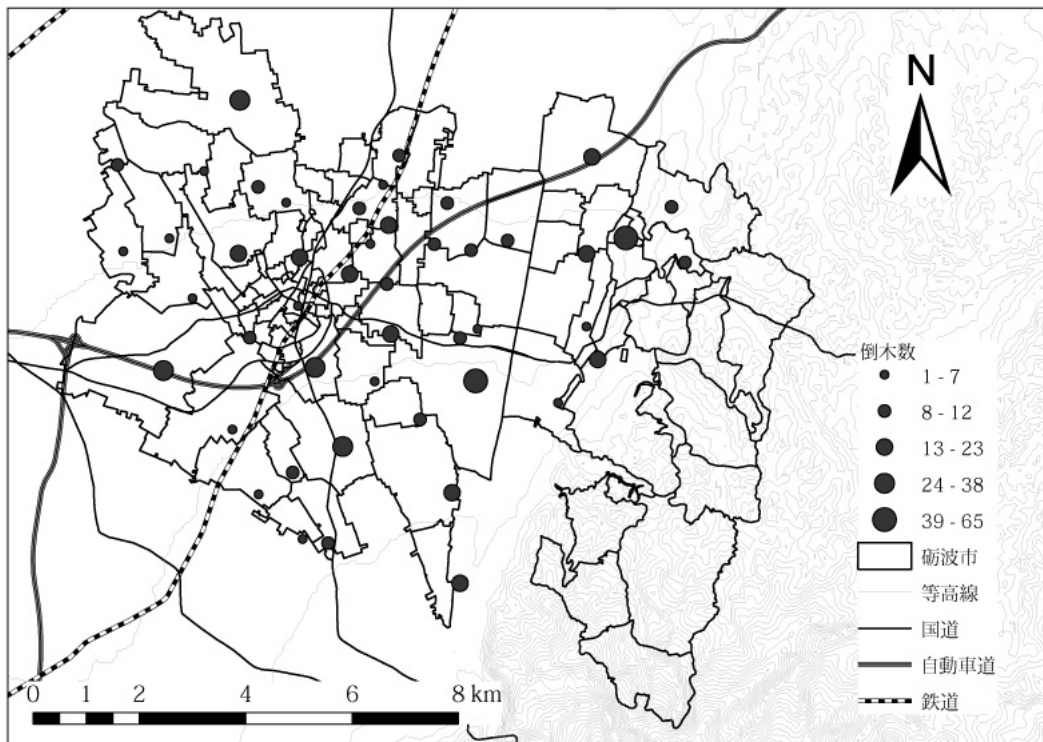
気象庁資料により作成

図 2 2004 年台風 23 号の経路



気象庁資料により作成

図3 台風接近時の砺波の風速経過



堀越（2005）より作成

図4 砺波市の神社の倒木被害

### 3 23号台風による屋敷林被害

台風23号による砺波市の倒木被害は2,206戸、14,236本であり、95%がスギの倒木被害だった(村上, 2005)。屋敷林はスギが主体であるものの、かつては高木層だけではなく中・低木層の樹木も構成要素の一つであり、強風に耐えることができた。しかし、近年、屋敷林としてスギのみが残されたため、今回の強風に耐えられなかったのではないかと考えられている(新藤, 2005)。また、倒木したスギのほとんどは、戦時の供木後に植えられた樹齢60年程度のボカスギであった。

砺波平野に広がる散村の屋敷林被害の詳細を空間的な広がりがわかるように整理した調査は存在しない。しかし、堀越(2005)は神社倒木調査を行い、砺波平野の倒木被害の空間的傾向を示した(図4)。その結果、山地や山地の陰になる地域の神社には倒木被害がほとんど見られなかった。また、市街地の樹木のほとんどない神社も被害が少なかった。それに対して、被害が大きかったのは、地域的な傾向よりも、高木の間伐などの手入れをしているかどうかが決定的要因となったことを明らかにした。他にもこの地域のスギは樹齢60年前後であり、衰退が進んでいることも原因の一つといえよう。

#### 4 屋敷林保全の課題

2004年10月の台風23号により、砺波平野の散村景観の特徴である屋敷林は大きな被害を受けた。台風による風水害は自然災害であるものの、屋敷林の倒木の要因をみると、屋敷林の手入れ不足という人災の側面があることがわかり、必ずしも自然のみが要因の自然災害とはいえない。

例えば、アルミサッシの普及により、屋敷林の防風林としての機能があまり必要とされなくなり、中低木が取り払われたこと、衰退の進んだスギのみの屋敷林となったところが強風に耐えられず倒木被害を発生してしまったこと、薪炭を燃料として使わなくなり、屋敷林に枝打ちなどの手入れをしなくなったこと、居住者が高齢化し手入れがままならないことなどがその要因である。これらが複合的に組み合わされ、強風に耐えられない屋敷林を生み出した。その結果、台風による倒木被害が拡大してしまった。

現在の生活の中で屋敷林を保全するのは容易ではないことが今回の被害から明らかとなった。しかしながら、砺波の散村の屋敷林は日本の農村を代表する景観の一つであることから、住民と行政の協働による保全活動がこれまで以上に活発に行われていくことを期待したい。

#### 参考文献

砺波散村地域研究所 (2001) : 『砺波平野の散村』 砺波散村地域研究所, 55p.

由比栄造 (2005) : 気象データからみた台風23号の特徴. 砺波散村地域研究所紀要22, 40-43.

堀越勝 (2005) : 台風23号による砺波市内社叢の倒木被害について. 砺波散村地域研究所紀要22, 53-63.

新藤正夫 (2005) : 台風23号による砺波市小島集落の屋敷林被害. 砺波散村地域研究所紀要22, 74-77.